

解剖学 (2) 実習

2 単位 2 年 (後期)

Anatomy (2)

羽地 達次・教授 / 歯学科 口腔解剖学第二講座 (口腔組織学), 樋浦 明夫・准教授 / 歯学科 口腔解剖学第二講座 (口腔組織学)

【授業目的】 1. 講義で習得した知識を基盤として、人体を構成する正常な器官の組織標本を実際に自分の目で観察し、それぞれの器官の組織学的な特徴を理解する。

2. 歯牙解剖学講義で学んだ歯の特徴を基にして、彫刻刀を用い、石膏棒から歯の形を仕上げることにより、それぞれの歯の形態と機能を理解する。

【授業概要】 1. 光学顕微鏡の操作を修得した後、組織標本を顕微鏡下で観察、スケッチすることにより、人体の組織学的構造と機能を理解する。スケッチは、毎回実習終了後に提出して評価を受ける。

2. 歯の解剖学の講義で学んだ歯の特徴を基にして、彫刻刀等を用いて石膏棒からそれぞれの2倍大の歯を仕上げることにより、各歯の形態と機能を理解する。

【授業形式】 実習

【授業方法】 顕微鏡下で各組織を観察、スケッチして人体の微細構造と機能を理解する。、石膏棒を作製し、各歯牙の形態を2倍大に彫刻し、歯の形態を理解する。

【授業場所】 第3実習室, 解剖実習室

【授業テーマ】 1. 講義で得た知識と本実習で得る顕微鏡的視覚情報を総合する。

2. 石膏棒を用いて歯の形態を彫刻し、各歯牙の解剖学的特徴を理解する。

【履修上の注意】 1. 実習全回出席と全実習スケッチの提出をもって受験資格を認める。

2. 各歯牙の特徴を正確に捉えていない場合は、再度又は再々度彫刻させ提出させる。

【到達目標】

(<> 内はコアカリ対応)

1. 顕微鏡の使用方法を修得する。
2. 上皮組織を細胞レベルで説明できる。
3. 結合組織の構造と機能を説明できる。
4. 軟骨組織の構造と機能を説明できる。
5. 骨組織の構造と機能を説明できる。
6. 血液の細胞成分を説明できる。
7. 筋組織の構造と機能を説明できる。
8. 神経組織の構造と機能を説明できる。
9. 血管の基本構造及び動脈と静脈の違いを説明できる。
10. リンパ節の構造及び構成する主な細胞を説明できる。

11. 消化管の各部位における組織構造を説明できる。

12. 肝臓と膵臓の組織構造を説明できる。

13. 気管と肺の構造と機能を説明できる。

14. 腎臓の構造と機能を説明できる。

15. 精巣, 卵巣, 子宮の構造と機能を説明できる。

16. 下垂体と甲状腺の構造と機能を説明できる。

17. 眼球の構造と機能を説明できる。

18. 上顎中切歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

19. 上顎側切歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

20. 下顎中切歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

21. 上顎犬歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

22. 上顎第一小臼歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

23. 下顎第一小臼歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

24. 上顎第一大臼歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

25. 下顎第一大臼歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

26. 上顎第一乳臼歯を計測, スケッチし, 石膏棒上でその形態を彫刻できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	組織学実習総論 顕微鏡観察	序論および実習における一般的注意 上皮組織, 支持組織 (1): 結合組織	プレパラート, 顕微鏡の使用説明 単層円柱上皮, 重層扁平上皮, 疎性結合組織, 密性結合組織	1,2,3	羽地, 樋浦
2.	顕微鏡観察	支持組織 (2): 軟骨組織	硝子軟骨, 線維軟骨, 弾性軟骨	4	〃
3.	〃	支持組織 (3): 骨組織	骨単位, 長骨の骨端部 (軟骨内骨化)	5	羽地 樋浦
4.	〃	血液	赤血球, 白血球, 血小板	6	〃
5.	〃	筋組織	平滑筋, 骨格筋, 心筋	7	〃
6.	〃	神経組織	神経細胞, 神経膠細胞, 外套細胞, 神経線維	8	〃
7.	〃	脈管系とリンパ性器官	大動脈, 小動脈, 静脈, リンパ節	9,10	〃
8.	〃	消化器系 1	食道, 胃, 空腸	11	〃
9.	〃	消化器系 2	肝臓, 膵臓	12	〃
10.	〃	呼吸器系	肺, 気管	13	〃

11.	”	泌尿器系	腎臓	14	”
12.	”	生殖器系	精巣, 卵巣	15	”
13.	”	内分泌系, 感覚器系	下垂体, 甲状腺, 眼球	16,17	”
14.	歯型彫刻	切歯	上顎中切歯	18	”
15.	”	”	上顎側切歯	19	”
16.	”	”	下顎中切歯	20	”
17.	”	犬歯	上顎犬歯	21	”
18.	”	小白歯	上顎第一小白歯	22	”
19.	”	”	下顎第一小白歯	23	”
20.	”	大白歯	上顎第一大白歯	24	”
21.	”	”	下顎第一大白歯	25	”
22.	”	乳歯	上顎第一乳歯	26	”

- 【成績評価】 1. 組織標本を用いた筆答試験とスケッチの評価を総合して判定する。
 2. 実習試験と各実習終了後の彫刻を客観的に評価し、総合的に判定する。
 3. なお、解剖学 (2) の単位は解剖学 (2) AB 講義, 解剖学 (2) C 講義, 解剖学 (2) 実習の成績を総合評価して認定する。

【再試験】 行う。

【教科書】

- ◇ 実習書: プリントを配付する。
- ◇ 参考書: 標準組織学総論 第 4 版, 藤田恒夫, 藤田尚男著 医学書院, 2004
- ◇ 参考書: 標準組織学各論 第 4 版, 藤田恒夫, 藤田尚男著 医学書院, 2010
- ◇ 参考書: 歯の解剖学 第 22 版, 藤田恒太郎原著, 桐野忠大, 山下靖雄改訂, 金原出版, 2004
- ◇ 参考書: 最新歯型彫刻 第 2 版, 尾花甚一編著, 医歯薬出版, 2004

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217376>

【連絡先】

- ⇒ 羽地 (088-633-7321, tat-hane@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金 17:00-18:00/4F 口腔解剖学第二・教授室))
- ⇒ 樋浦 (633-9121, hiuraaki@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金 17:00-18:00/4F 口腔解剖学第二・助教室))